

2016年度日本語教育学会研究集会 第4回 <北海道地区(札幌)> 【研究発表・ワークショップ】

日時：2016年7月2日(土) 10:00~17:45

会場：北海道大学 国際本部グローバル教育推進センター
(〒060-0815 札幌市北区北15条西8丁目)

※2016年3月より会場名が「国際本部留学生センター」から「国際本部グローバル教育推進センター」へと変更になりました。

交通：JR札幌駅北口より徒歩20分，地下鉄南北線「北12条駅」より徒歩10分

※ご来場の際は，公共交通機関をご利用ください。

http://www.isc.hokudai.ac.jp/www_ISC (>留学生センターについて/各種データ>アクセス)

参加費(資料代)：学会員，北海道日本語教育ネットワーク会員=300円 一般=500円

※研究発表は事前申込不要，ワークショップのみ事前申込

問合せ先：鄭惠先(チョン・ヘソン、北海道大学)

e-mail：jung[at]oia.hokudai.ac.jp ※[at]を@に置き換えてください。

主催：公益社団法人 日本語教育学会

共催：北海道大学国際本部グローバル教育推進センター，北海道日本語教育ネットワーク

当日の流れ：9:30 受付開始

10:00~10:05 開会挨拶

10:05~14:30 研究発表・実践報告

14:45~17:45 ワークショップ(前半講演，後半ワークショップ)

<第1部> 研究発表・実践報告 10:05~14:30

口頭発表 10:05~11:35 会場：2階 209教室

10:05~10:35 多文化交流科目「北海道再発見」の実践と評価

小林由子(北海道大学)

10:35~11:05 「自律した学習者」へのプロセス—留学を延長した学習者の振り返りから—

藤原安佐(北星学園大学)

11:05~11:35 コリア語母語話者に対するVT法を用いた発音指導

—経験の浅い教師による日本語初級レベル学習者の音声意識化への試み—

山本大貴(北海道文教大学大学院生)

ポスター発表 11:35~12:30 会場：2階 207・210教室

・交換留学生のための学習支援クラスの試み

鈴木美穂・竹田裕姫(目白大学)

・日本語学習者の発音に対するピリーフの変化

李 玗兒(韓国・釜山大学校大学院生)

・縮約形に関する台湾日本語教師の指導意識の検討

羅 濟立(台湾・東呉大学)

・会話の基本情報と音声重複から見る母語場面と接触場面の特徴

木林理恵(日本学生支援機構)

・日本語母語話者の『だろ』の考察—使用実態・機能・ポライトネス理論の見地から—

吳 秦芳(台湾・真理大学)

12:30～13:30 昼休み

口頭発表 13:30～14:30 会場：2階 209教室

13:30～14:00 非日本語専攻の初級学習者における長期的学習ストラテジーの使用について
—台湾の大学生を例として—

郭 毓芳（台湾・逢甲大学）

14:00～14:30 日本語教育における内容言語統合型学習—留学プログラムでの実践報告—
山本かすみ（米国・ウィリアムズ大学）

14:30～14:45 休憩

<第2部>ワークショップ 14:45～17:45 会場：2階 209教室

※前半講演，後半ワークショップ

「日本語教室のピア・リーディング

—協働学習はどうすればうまくいくのか—

講師：石黒 圭 氏（国立国語研究所 教授）

現在，日本語教室では協働学習がブームです。しかしながら，いざ協働学習をやってみると，なかなかうまくいきません。本講演では，上級学習者を対象にした読解授業を取り上げ，学習者どうしの授業内の談話や，事前・事後の個別インタビューなどをもとに，ピア・リーディングには，①どんなテーマが適切か，②どんなグループ分けが有効か，③どんな指示が必要か，といったことを実証的に明らかにし，協働学習が成功する秘訣を考えます。また，そうした読解授業を参加者にも実際に体験していただき，その有効性や問題点を一緒に考えたいと思います。

<ワークショップのみ事前受付です>

- ・ 申込受付期間：2016年6月1日（水）～6月30日（木）必着
- ・ 申込方法：下記事項を明記して，Eメールまたは郵送にてお申し込みください。
 1. 氏名
 2. 所属先（名称）
 3. 連絡先（住所・電話番号・メールアドレス）
 4. 日本語教育学会員・北海道日本語教育ネットワーク会員・一般の区別を明記
- ・ 申込先：〒060-0815 札幌市北区北15条西8丁目
北海道大学 鄭 惠先（チョン・ヘソン）
e-mail：jung[at]oia.hokudai.ac.jp ※[at]を@に置き換えてください。